

【教育目標】
確かな力を持ち 心豊かで たくましく生きる児童の育成

【学校経営の基本方針】

一人一人の子供は、かけがえのない人間として生まれる存在であることを基盤とし、学校教育目標の具現化を中核に据え、社会に開かれた教育課程やカリキュラムマネジメント等学習指導要領の理念を踏まえ、家庭・地域との連携を図り、教職員一人一人が持つ力を十分に発揮し、全教職員の創意工夫と協働を基に、子供たちがこれからの社会をたくましくしなやかに生き抜くための資質・能力を育成する。

【目指す児童像】

思いやりのある子

- 相手意識を持ち、協力し合う子供を育てる
- 人のために行動することに喜びを感じる子供を育てる
- 家族や学校、地域を大切に考えることができる子供を育てる

健康でたくましい子

- 健康や安全に気を付けて生活する子供を育てる
- 体力向上への強い意志を持ち、健全な身体づくりに励む子供を育てる
- 将来の夢や目標を持ち、実現に向けて努力する子供を育てる

主体的に学びに向かう子

- 確かな知識や技能を身に付け、学びに生かすことができる子供を育てる
- 自分で考え、判断し、安心して表現・行動できる子供を育てる
- 相手意識を持ち、協働的に課題解決にあたることができる子供を育てる

【令和3年度重点事項】

- 互いを認め合う温かな雰囲気学の学級づくり
 - ・一人一人に役割を持たせ、自己肯定感を高める活動の工夫
- 相手の立場や思いを考える児童同士の交流の場の構築
 - ・日常生活や授業、特別活動の中での「異学年交流」実施
- 保護者や地域と連携した場に応じたあいさつの推進
 - ・児童会で目指す「目を見て 元気に 自分から」の具現化

協働型学校評価到達目標

- 感染症等予防策を継続徹底した環境の構築
 - ・「上小ガイドライン」に基づく教育活動の実施
- 体力・運動能力向上の工夫と食の指導
 - ・発達段階に応じた基礎体力を向上させる取組
 - ・給食センターとの連携、委員会活動を生かした食育の実施
- 強い心を育む「自分づくり教育」の推進
 - ・「たくましく生きる育成プログラム」の効果的な活用

協働型学校評価到達目標

- きめ細やかな指導による基礎的知識・技能の習得
 - ・ICT、視聴覚資料等を活用した個に応じた授業の実施
 - ・知識を育む読書活動の推進
- 達成感につながる「分かる」「できる」授業づくり
 - ・指導のねらいに即した問題解決的な学習の工夫
- 児童同士の協働や学び合いを大切にした学習活動の構築
 - ・聞き合いや対話を生み出す指示、発問の工夫



地域とともに歩み信頼される学校

- 「かみすぎねっと」との連携
- 「仙台版防災教育」の充実
- 学びの連携の充実
- 積極的な情報発信
- 協働型学校評価の充実
- 開校150周年記念事業に向けた取組



【目指す学校像】

- 思いやりがあふれる温かな学校
- 健康で活気がある楽しい学校
- 子どものあいさつや歌声が響く学校

【目指す教師像】

- 子どもに寄り添い、心身ともに健康で、人間性あふれる教師
- 専門性に富み、創造性豊かな教師



- 課題解決や深い学び等、よりよい授業を目指し、主体的に学び続ける教師

令和3年度協働型学校評価重点目標

- <取組1> 「目を見て 元気に 自分から」あいさつができる児童 (自己評価90%以上)
- <取組2> 進んで読書に親しむ児童 (図書室の一人あたりの貸し出し冊数：45冊以上を70%以上)



【令和3年度校内研究主題】 主体的に関わり、思いや考えを伝え合う児童の育成 (2年次)